

林 達夫 (はやし・たつお) 1896～1984

評論家、翻訳家、編集者 ～エピキュリアンにしてコスモポリタン～

出生 1896年(明治29)11月20日に外交官林曾登吉の長男として東京市で生まれる。

履歴 生後まもなく父の転勤により米国シアトルに住み、幼年期を過ごす。第一高等学校を中退した後、京都帝国大学哲学科選科で美学及び美術史を専攻し、同科終了(1922年)。東洋大学教授(1924年から1935年)になるなど大学で教える一方、岩波書店の「思想」の編集にも参画した。戦時中は東方社理事長となり、戦後は中央公論出版局長などを経て、平凡社に入社し、事典の編集に携わる。また、鎌倉アカデミアに参加(1946年)するとともに、明治大学教員(1949年から1972年)としても活躍し、後進を育てた。

事績 若い頃から進めたルネサンス研究を始め、時世を見る目は状況的ではなく、深く人間の精神に根ざした批評を書いた。翻訳としては岩波文庫の『ファール昆虫記』やヴォルテール『哲学書簡』が知られている。編集者として、多くの雑誌、事典を編集するとともに、言論人を発掘し育てた。戦前の「思想」の編集者として清水幾太郎を、中央公論社時代は福田恆存、加藤周一などを見出し、平凡社では『世界大百科事典全33巻』(1955年～1963年)の編集長として、大事業を完成させ、戦後の百科事典ブームの先駆けとなった。

評価 該博な知識を基本として、日本の知的状況の対し関心を持ちつづけ、政治的事象についても、思想的かつ本質的な考察を行い、「精神史・一つの方法序説」が傑作といわれている。ここでは人間中心主義ではなく、言葉や記号を分析する構造主義と同様の方法論も見られ、1970年代に世界潮流の中で話題となったM・フーコーやC・レヴィ＝ストロースを髣髴とさせる作品との評価がある。

代表作

「共産主義的人間」 ソヴェトの革命事業の困難さに深い理解を示しつつ、目的達成のために反対派の人々を警察力により、粛清せざるを得ない本質的問題を、フルシチョフのスターリン弾劾演説より5年も早く指摘しており、発表当時(1951年)より弾劾演説後に評判となった。著作集5に収録。

「精神史・一つの方法序説」 イタリアルネサンスの作家や作品を具体的に論じつつ、その時代の歴史的分析を通して精神の原型を探ろうという試みであり、記号論、構造主義を先取りする日本の先駆的論文と言われている。著作集1に収録。

エピソード ガーデニングを好み、自宅には英国風の庭園を作り、植物や昆虫をこよなく愛し、生活の楽しみも等閑にしない生活態度を貫いた。

神奈川 1922年(大正11) 藤沢市鵜沼に居を構え、以後この地に住む。1946年(昭和21)から鎌倉大学校(のち鎌倉アカデミア)に招かれ、文学科長となり、文芸学や西洋文化史を講じた。ここでは人気の高い教授であったが、1950年にアカデミアは解散した。

最期 1984年(昭和59)4月25日、老衰のため鵜沼桜が岡の自宅にて死去。享年87歳。



林忠彦撮影

Great Works 37

林達夫著作集 全7 平凡社 1971～1972年,1987年 <請求記号 081.8/48>

解題 単行本の文章を、各巻それぞれの表題に基づき再編集し、新聞記事や後書きなどを加えて丹念に再構成することにより全6巻構成で知的世界の全貌が俯瞰できるように組み立ててある。多くの翻訳書は含まれていない。編集者は哲学者久野収と評論家花田清輝である。別巻1は6巻の著作集とは異なり編集者を立てずに書簡を集めてある。

内容

- 1 芸術へのチチェローネ(芸術やルネサンスを素材とした諸論文を中心に編集)
歌舞伎劇関するある考察[一高校友会雑誌 1918年]文芸復興[小山書店 1933年]ルネサンスの母胎[世界美術全集16 平凡社 1956年]ルネサンスの偉大と退廃[世界美術全集17 平凡社 1955年]精神史・一つの方法序説[岩波講座哲学4 歴史の哲学 岩波書店 1969年]他
- 2 精神史への探求(同時代批判の意味をもこめて精神史への道を探った諸論考を中心に編集)
ルソー[岩波書店 1936年]古典主義と合理主義、スローガンとしての神学の婢、吉利支丹運動の

- 物質的基礎、大作家の唯物論研究 [思想の運命 岩波書店 1939 年] 他
- 3 無神論としての唯物論 (唯物論を無神論としてとらえた著者が、その無神論に依拠して書いた歴史探求と宗教批判の諸論考を編集)
唯物論の歴史 [共産主義的人間 月曜書房] 社会史的思想史中世 [社会史的思想史 岩波書店 1949 年] 文芸の社会的基礎 [思想の運命 岩波書店 1939 年] 宗教について [歴史の暮方 筑摩書房 1946 年及び 1968 年] 邪教問答 [共産主義的人間 月曜書房 1951 年] モーリアックのイエス伝 [思想の運命 岩波書店 1939 年] 他
 - 4 批評の弁証法 (批評をディアレクティークととらえ創造的批評活動を展開した諸論文を編集)
デカルトのポリティーク、私の植物蒐集、植物園 [歴史の暮方 筑摩書房 1946 年] 方向指示 [作品刊年未詳] 批評家棄権、文学史の方法、思想の文学的形態、社会主義者アミエル、主知主義概論、アミエルと革命、作庭記、庭園の不在地主、アマチュアの領域 [思想の運命 岩波書店 1939 年] 三木清の思い出 [共産主義的人間 月曜書房 1951 年] 他
 - 5 政治のフォークロア (時々の政治状況と係わるなかで公にした発言を編集)
反語的精神、歴史の暮方、ラ芬陀 (ラベンダ) [歴史の暮方 筑摩書房 1946 年及び 1968 年] 思想の運命 [思想の運命 岩波書店 1939 年] [歴史の暮方 筑摩書房 1946 年及び 1968 年] 共産主義的人間 [共産主義的人間 月曜書房 1951 年] 他
 - 6 書物の周囲 (書籍、映画、演劇、笑いなどを素材にした文化論を中心に東京朝日新聞「オベリスク」欄執筆コラムなどを編集)
書物の周囲 [戦前の「思想」に部分が初出、その後いくつかの単行本に他の部分が発表され本著作集でこの形態となった] 小説読者論、無益な翻訳戦争 [思想の運命 岩波書店 1939 年] 十字路に立つ大学 [共産主義的人間 月曜書房 1951 年] 他著作年譜、略年譜、目次総索引
- 別巻 書簡集 (1918 年から 1982 年)
谷川徹三への手紙を中心に 39 通を収録している。

参考文献 ~この人をもっと知るために~

< 図書 >

- 📖 わが林達夫 / 高橋英夫著
小沢書店 1998 年 267 p < 289.1GG / 3679 > 資料番号 21073911
- 📖 回想の林達夫 / 久野収編
日本エディタ - スク - ル出版部 1992 年 218 p < 289.1AA / 3128 > 資料番号 20511580
- 📖 明治大学図書館所蔵林達夫文庫目録 / 明治大学図書館編
明治大学図書館 1991 年 550 p < 029.9 / 110 > 常置 資料番号 20348181
- 📖 林達夫とその時代 / 渡辺一民著
岩波書店 1988 年 366 p < 121.9W / 167 > 資料番号 12301743
- 📖 林達夫座談集世界は舞台 / 山口昌男編
岩波書店 1986 年 240 p < 104T / 189 > 資料番号 12298170
- 📖 思想のドラマトルギ - 増補版 (平凡社選書 39) / 林達夫、久野収共著
平凡社 1984 年 433 p < 104R / 77A > 資料番号 12297560

< 図書 (部分) >

- 📖 林達夫 / 山口昌男著 (言論は日本を動かす 第 9 巻)
講談社 1986 年 p 97 - 123 < 281T / 122 / 9 > 資料番号 12357232
- 📖 林達夫の「抵抗」と「躊躇」 / 海老坂武著 (雑種文化のアイデンティティ)
みすず書房 1986 年 p 3 - 16 < 363.02T / 179 > 資料番号 12468906
- 📖 知の形態について - 安岡正篤と林達夫 / 粕谷一希著 (対比列伝 - 戦後人物像を再構築する)
新潮社 1982 年 p 81 - 98 < 281P / 116 > 資料番号 12357083
- 📖 林達夫について / 桑原武夫著 (桑原武夫全集 補巻)
朝日新聞社 1972 年 p 178 - 195 < 081.8 / 35 / 8 > 資料番号 10156917

< 雑誌論文等 >

- 📖 特集 林達夫と現代日本の思想
現代思想 (青土社) 12 (8) [1984 . 8] < Z105 / 9 >